

⑥【ともに創る学びの

仲間たちへの取り組み】

ともに学び喜びを得るために学習拠点を整備することが求められている。
そのために、生涯学習センター、スポーツ施設などを整備する。

(主な事業名)

- ・ 市民会館、大成荘、市民ギャラリーの運営（文スポ）
- ・ 学校施設開放事業（文スポ）
- ・ 小中学校等体育施設の開放（文スポ）
- ・ 学校体育施設の整備充実（文スポ）
- ◎（仮称）市民の森ふれあいホール着工に向けた取り組み（文スポ）
- ◎ 新グラウンドの設置（文スポ）
 - ・ 既存体育施設の整備充実（文スポ）
 - ・ 施設備品の充実（文スポ）
 - ・ 障害者訪問学級（文スポ）
 - ・ 科学・英語教室など（文スポ）
 - ・ 遊び場開放（文スポ）
 - ・ ひのっ子体力アップ（文スポ）
- ◎（仮称）日野健康スポーツクラブの設立準備、ニュースポーツ、ジュニアスポーツの普及（文スポ）
- ・ 東京国体に向けた準備（文スポ）

◎は評価対象事業

文スポ・・・文化スポーツ課

事業の名称	(仮称)市民の森ふれあいホール建設経費		
基本方針	ともに創る学びの仲間たちへの取組み	事業経費	17,772千円 内16,500千円は国庫支出金
担当課	文化スポーツ課		
事業の目的			
(仮称)市民の森ふれあいホールは、国土交通省所管「まちづくり交付金」対象事業として建設を予定しており、まちづくり交付金の対象事業となっている。日野駅周辺都市再生整備計画の終了年度となる平成23年度を目とに建設を終了させ、市民交流の拠点として活用を図るとともに、平成25年に実施される東京国体の会場として活用する。			
事業の概要			
(仮称)市民の森ふれあいホール建設に伴う実施設計業務 平成20年度からの債務負担による契約で設計を行う。			
事業の成果・評価			
建築に必要な設計を実施。当該年度に工事発注を予定していたが、市の財政状況を考え建設休止となる。			
今後の課題			
建設工事については、財政状況の悪化から休止という判断をしていたが、平成21年9月に建設再開が決定。現在、契約に向けて準備を進めている。 まちづくり交付金と国体整備補助金の活用をし、平成23年度完成を目指し着工していく。今後、運営面を含め、未整理の項目を整理していく。 また、まちづくり交付金と国体整備補助金以外の補助金確保についても、検討していく。			

事業の名称	新グラウンドの設置		
基本方針	ともに創る学びの仲間たちへの取組み	事業経費	6,598千円
担当課	文化スポーツ課		
事業の目的			
誰もが自由に利用できる多目的な広場をすることにより、安全で安心な川遊びや、自然とのふれあいが出来き、人との交流を盛んにし、日常的な地域コミュニティの活性化と健康増進の向上を図っていく。			
事業の概要			
多摩川河川敷の占用及び多目的利用が可能な施設としての最小限の整備と整備箇所へ安全に降りるための階段の設置			
事業の成果・評価			
地元からの強い要望もあり、国土交通省の河川事務所から占用許可を受け整備を実施した。地元住民に広く利用していただけるように、施設の貸出しを地元で実施するなど、地元自治会等と協働して管理運営を行うなどの成果をあげている。			
今後の課題			
河川敷に設置しているため、台風等の増水で広場が浸水した場合、早急な修繕が必要になるが、予算対応が課題となる。			

事業の名称	地域スポーツ振興経費		
基本方針	ともに創る学びの仲間たちへの取組み	事業経費	3,283千円 内2,966千円は都支出金
担当課	文化スポーツ課		
事業の目的			
東京都より受託した地域スポーツクラブ設立モデル事業に基づき、ニュースポーツの普及と健康増進を目的とした地域スポーツクラブの支援を行う。			
事業の概要			
・設立までは、設立支援協議会で支援策を検討するとともに、設立準備委員会で具体的な設立に向けての準備を行った。また、クラブPR及び普及事業として、スポーツ体験教室や地域説明会を行った。 ・11月23日に設立総会を開催し正式に発足した。会員獲得のために、引き続き体験教室を開催するとともに、会員との意見交換会、地域説明会等を実施し、また支援センターの交流イベントへも参加した。			
事業の成果・評価			
・スポーツ振興計画に盛り込まれた、平成20年度までに第1号の総合型地域スポーツクラブを設立させる目標は達成された。 ・地域の住民を中心に平山台健康・市民支援センターを活動の拠点として、市民の健康づくり、仲間づくりをしながら、豊かな地域づくりに貢献することを目的に、自主運営のクラブとして、第一歩を踏み出すことができた。 ・プログラム内容 スポーツ吹矢、ビーチボール、護身合気道、卓球、グラウンドゴルフ、バトミントンなど			
今後の課題			
クラブが安定的に運営されるまでは、行政から施設・資金面での支援が不可欠である。 クラブ運営を円滑にするため、会員の増員に努めていく。			